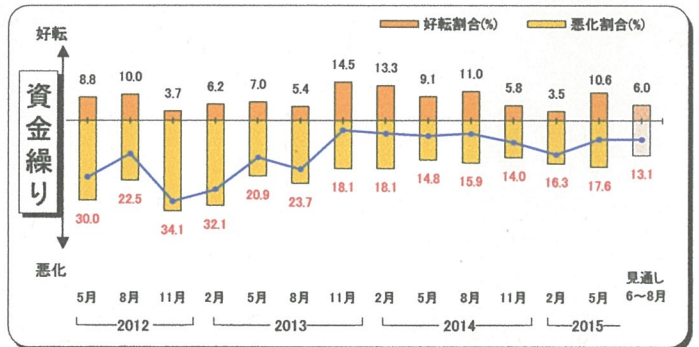
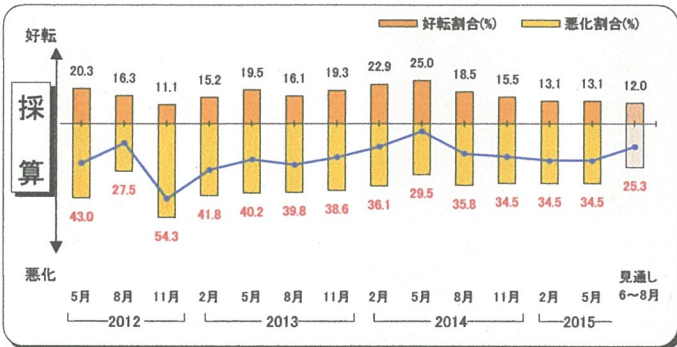
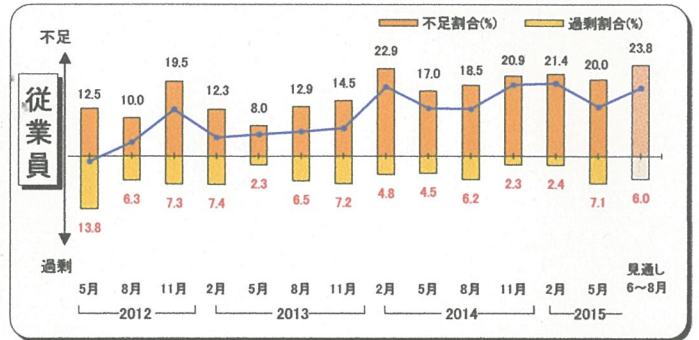
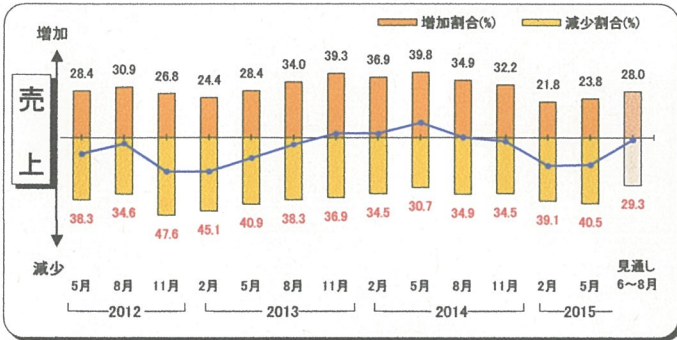
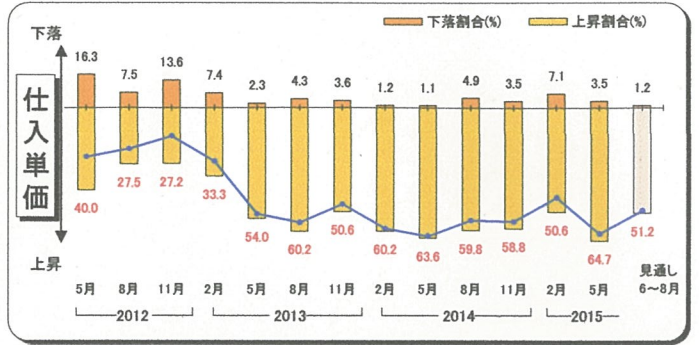
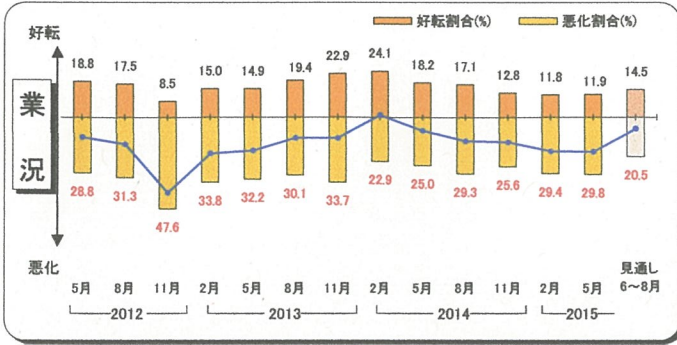


【製造業】①



【製造業】②

企業の声（日本標準産業分類順）

パン製造業	製造のパート従業員が募集しても採用できないため、4月より最低時給を10円上げ870円とした。更に評価の高い方は更に時給を上げた。製造のパート従業員が不足しており、売上を伸ばすことは困難である。しかし、新商品を開発して単価がアップしたため、製造数量は減少したが、売上金額は前年を何とかキープした。食材の仕入価格が値上がりしているため、採算面では厳しいが、新製品開発と昨年11月の製品の値上げで、利益率は前年を維持している。設備投資は国や県の助成金の応援を受けながら今年も計画をしている。
木製家具製造業	夏から忙しくなるとの情報はあるものの今ひとつ。確実な受注は見られない。
オフセット印刷業	売上上位の顧客の支払サイトが1ヵ月延びました。資金繰りが難しいです。
生コンクリート製造販売	新卒採用は本社採用、幣事業への配属はない。
鉄鋼業	取引先の業況が芳しくないので、余波を受けております。
建設用金属製品製造業	輸入品を中心に仕入品のコストが上昇しているが、販売品への価格転嫁がなかなか進まない。
建設用金属製品製造業	雰囲気は昨年に比べ良い感じを受けている。売上の数字が比例してついてくるか少し不安もあるが、先行き見通しは期待している状況である。期待倒れにならぬよう目配りをしていきたいと思っている。
金属プレス製品製造業	当社は主にHonda向けの自動車部品を手掛けていますが、国内の自動車需要は消費税増税後未だ回復しておりません。但し海外向けの需要を考慮すると、夏から秋にかけては受注の回復が見込まれると予想しております。
物流運搬設備製造業	今期の売上が上昇するも仕入単価の上昇と受注額の低限のため、採算面で好転しません。
建設機械・鉱山機械製造業	定年で退職者の分（2人）中途採用した。
金属工作機械製造業	当社の専用材は、一時的な好況と思っていましたが、先行きが明るくなる兆しが出てきました。また、建材部品も海外からの引合いが増えてきて、良い環境になりそうです。
生産用機械・同部分品製造業	産業機械の業界では今年4月より「トップランナー規制」が始まり、高効率モーターを使用することが義務付けられた。その影響で納期面、価格面の混乱がいまだに収束せず、困った状況が続いている。その他でも値上げされる仕入品も多く、デフレ脱却を感じるどころ。
生産用機械・同部品製造業	例年、年度末を過ぎると第一四半期は仕事量が少なく、夏場を過ぎて下期に上昇する傾向です。今年度もあまり変化はなさそうです。
理化学機械器具製造業	国内企業からの引合いは増えており、今後の受注増加を期待しているが、売上比率の大きい主な輸出先である中国、台湾、韓国からの受注が減少しており、厳しい状況が続くそうである。
集積回路製造業	本年1月～4月までは、売上増加、最高によかった。これも昨年から仕掛けていた仕事が決まったので、売上増加いたしました。今後も仕掛けている仕事がありますが、決まれば今期売上最高になりますが、注文書が届くかわかりません。1月～4月までの売上は29年経営してきて最高ではありますが、残念なことに円安が進んでいるので利益としてはとても薄いですが、お金が回っていることに感謝しています。先行きについても営業力でアピールをたくさんしていくしかないと思っています。 ※現在大手は円安で利益を得ていますが、リーマンの時、また、その後の円安で苦しい思いをしていますので、今良くて出入業者にはとても厳しいです。
電子部品・デバイス・電子回路製造業	業績が上がらないので役員の給与をカットした
食料・飲料卸売業	仕入価格の動向。魚の漁獲量の減少。